

三重県循環型社会形成推進計画施策 2-1 に係る目標数値の設定について

1. 背景

施策 2-1 「循環関連産業の育成及び支援」には、①「高度な資源循環や環境負荷の低減に資する設備を導入又は研究を実施した件数（累計）」と②「ICT を導入し成果につながった廃棄物処理業者等の割合」の2つの目標項目が設定されており、うち②の現状値については令和3年度に調査し、令和7年度の目標値については、当該調査を踏まえて設定することとしている。

今年度調査するにあたって、基本的な考え方と調査項目について次のとおり整理したので、ご意見をいただきたい。

2. 基本的な考え方

(1) 目標項目及びその説明

目標項目	目標項目の説明
ICT を導入し成果につながった廃棄物処理業者等の割合	廃棄物処理やりサイクルの現場において ICT を導入し、成果につながった事業者の割合

(2) 調査の目的

廃棄物処理業者等は、社会インフラの一つとして地域社会、地域経済をしっかりと支える役割を担っている。今後、廃棄物処理業者等は、Society 5.0（超スマート社会）に対応するため、ICT の更なる活用が必要になると考えられる。このことから、廃棄物処理業者等の ICT 導入に対するニーズと成果を把握し、効果的に施策を展開するために活用するためのデータとする。

(3) 本目標項目における ICT について

超スマート社会の実現に資するため、ICT の段階的な発展にあわせたレベルを設定する。レベル1に相当する事業者が相当数を占めると考えられるが、その実態を把握し、事業者がレベル2及びレベル3にチャレンジできるよう、施策を検討することとする。

レベル	説明	技術の例
0	下記のいずれにも該当しない	
1	従来は個別に機能していた「もの」がサイバー空間を利活用して「システム化」される	<ul style="list-style-type: none"> ・ LAN の整備 ・ タブレットやスマートフォンの導入 ・ オンライン会議や web 研修の実施又は参加 ・ 電子manifestの導入 ・ システムの一元化

2	分野の異なる個別のシステム同士が連携強調される	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットやセンサーによる管理、監視 ・GPS の活用(車輛やコンテナ等)
3	自律化・自動化の範囲が広がる	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットボットによる問い合わせ対応 ・AI による自動選別 ・AI による収集ルート最適化 ・処理施設の自律化
4	社会の至るところで新たな価値が生まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクル全体での資源循環

(4) 本目標項目における成果について

(3) を踏まえ、レベル1のICTを導入することにより次に挙げるような課題の解決につながった場合を成果としてカウントする。

- ・再資源化量の増加
- ・顧客の確保
- ・業務(処理)の効率化
- ・労働環境の向上
- ・処理費用の抑制
- ・技術の継承
- ・人手不足の解消
- ・その他

2. 調査項目

(1) 対象等

対象は県内の廃棄物処理業者等とする。

(2) 調査項目

- ・属性項目(事業者情報、許可の状況、資本金、従業員数)
- ・ICTの導入状況、ICTによる課題解決、今後導入したいICT、導入したい理由、ICTの導入にあたっての課題、自由記載

3. スケジュール(案)

- 8月12日 三重県循環型社会形成推進会議
- 8月中 調査項目の確定
- 9月から10月 調査の実施
- 10月 集計
- 11月 目標値の検討
- 12月 委員の皆様との書面協議